

【附属資料】

2023 年度事業計画

一般社団法人溶接学会

2023年度 事業計画
(2023年3月1日から2024年2月29日まで)

本会は、2023年度において溶接研究の拡充、振興および溶接教育の推進強化を目的として下記の事業を行う。

1. 全国大会（定款4条1項）

1.1 春季全国大会

2023年4月25日～5月9日：オンライン開催（一般講演はオンデマンド形式、企画イベントはTeamsによるライブ形式）

研究発表講演(98件)、特別講演「IIW2022の総括」（講演1件）・シンポジウム「電気自動車の溶接・接合技術」（日本溶接協会との共催企画）（講演6件）、フォーラム「ゼロカーボンを支える界面接合、基礎から最近適用例」（講演6件）、若手会員の会イブニングフォーラム

1.2 秋季全国大会

2023年9月13日～15日：富山大学五福キャンパス 総合教育研究棟（富山市五福3190）

研究発表講演、溶接学会論文賞受賞講演、業界セッション、特別講演、フォーラム、ポスターセッション、企業展示、技術セッション、ワークショップ

2. 講習会（定款4条1項）

2.1 2023年度溶接入門講座（第58回）

会期 2023年6月6日(火)・7日(水)（2日間）

会場 溶接会館ホールでの対面及びMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催

2.2 2023年度溶接入門講座（第59回）中国支部共同開催

会期 未定（2日間）

会場 未定

2.3 2023年度溶接工学夏季大学（第71回）「溶接中堅技術者講座」

会期 2023年7月24日(月)9:00から8月7日(月)17:00まで（15日間）

会場 オンデマンド配信方式にて開催

2.4 2023年度溶接専門講座（第10回）

高エネルギービーム加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催

会期 2023年10～11月に予定

会場 対面とMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催

2.5 2023年度溶接工学企画講座（第5回）

編集委員会と溶接教育委員会の共同開催

企画は未定

会期 2023年10～11月に予定

会場 対面とMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催

3. 刊行（定款4条3項）

3.1 溶接学会誌 92巻2号（2023年3月号）～93巻1号（2024年1月号）8冊

3.2 溶接学会論文集（WEB出版）第41巻2号(2023年4月)～第42巻1号(2023年3月)4冊

3.3 WEB版全国大会講演概要集（第112集及び第113集）2回

3.4 2023年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.5 溶接学会技術資料を随時刊行する。

4. 第91回通常総会

日時 2023年4月25日（火） 開会 10時30分 閉会 12時00分

開催方式 Microsoft Teamsによるオンライン開催

議題 1. 第1号議案 2022年度事業報告承認の件

2. 第2号議案 2022年度決算報告承認の件

3. 第3号議案 監査報告の件

4. 第4号議案 名誉員推薦の件

5. 第5号議案 その他

6. 名誉員・特別員の推薦、各種表彰

7. 支部感謝状贈呈

5. 役員会等

5.1 理事会

定例理事会を6回(3・4・6・9・12・2月)及び必要あるとき開催

5.2 運営協議会

必要あるとき随時開催

5.3 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.4 支部長会議

必要あるとき随時開催

5.5 JIW 共同企画委員会

定例として年4回開催

6. 業務委員会活動

6.1 企画委員会

日本溶接協会との連携強化を目指し、JIWの共同企画委員会に提案する戦略および実行プランを策定する。特に、研究活動、出版活動、教育・啓発活動、広報・情報化戦略などについて、連携強化のための活動提案を行う。また、ポスト・コロナ時代のニューノーマルな生活様式における学会活動について探求しながら、本会のプレゼンスをより一層高めることを目標として、全国大会の改革・充実、研究委員会活動の活性化、教育・出版・広報活動の刷新、財務基盤強化、支部活動の活性化、国際化対応などについて推進する。また、学会誌の将来ビジョン策定、論文集の活性化、財務強化に向けた会員・賛助員メリットの明確化および会員増強、情報発信の強化(情報コンテンツの整備、ホームページの充実・英文化)、若手活性化アクションプランなどを検討し、その推進に努力する。さらに、溶接・接合分野の重要性を政府・関係機関、日本学術振興会などへアピールする活動を継続する。国際化対応に関しては、JIW/IIW活動を活性化させ、国際的な情報発信に活用する。会員サービスや教育活動に関しては、新たな教育プログラムに加えて、本部や支部主催の講習会や日本溶接協会と連携企画を通じて、溶接技能者・技術者・研究者育成に寄与する教育・広報活動を検討する。

6.2 溶接情報化委員会

新しい学会ホームページを活用し、学会活動の情報発信強化、セキュリティ対策の向上、会員・賛助員へのサポートを向上させる。ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ時代に対応し、会員へ提供する各種サービスの充実、効率的な提供を図るため、他の委員会と協力してオンライン、オンデマンド、ハイブリッドを含めて、行事開催を推進する。定例委員会及び情報化WGを開催し、会員・賛助員情報、委員会情報、イベント情報発信などを一元化できる情報管理システムの充実を図る。引き続き、学会HPのブラッシュアップをすすめ情報発信強化をはかる。

6.3 編集委員会

溶接学会論文集およびWelding LettersはWEB発刊とする。溶接学会誌は年8号を刊行し、特集、レビュー&トレンドなどの企画を行う。第86巻以降の展望号を改訂し、「A 溶接・接合工学の最近の動向」は8つの常設研究委員会を2グループに分けて「B 産業界の最近の動向と溶接工学」と併せて3年周期で担当することとした。本年はAの常設研究委員会(2グループのうち前半)による溶接・接合工学の最近の動向の執筆となる。学生員への学会誌の郵送を停止しWebでの配布とする。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニターによるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努める。2022年のアンケートの取りまとめを行い、集計結果を学会誌(Vol.92、No.5予定)にて報告する。年間の学会誌掲載記事より、ベストオーサー賞候補者を選考する。

学会誌記事の一部について、カラー図面や動画をWebから閲覧可能なように、電子化の試行を行う。また、電子化に対する会員の要望を反映する方策を検討する。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム(J-stage)にて、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から5年経過後に公開する。溶接学会全国大会講演概要も会員には発行直後から公開、非会員には発行日から5年経過後に公開する。溶接学会論文集は創刊号から一般公開する。

昨年の軽金属接合加工研究委員会への溶接学会論文集特集号企画の依頼に引き続き、本年は、マイクロ接合研究委員会と界面接合研究委員会に特集号企画を依頼する。

溶接学会とTaylor & Francis社との契約に沿って、溶接学会論文集への投稿時、著者に英文翻訳誌Welding International(WI)にて翻訳掲載される候補論文となる同意を確認する。同意論文情報リストをWIのEditor in chiefへ送付し、採択された論文の編集可能PDFファイルをWI

へ送付、翻訳論文を著者に確認・修正依頼し再度 Editor in chief へ送付する。著者・Editor in chief の両者合意にて、版組、最終校正、掲載プロセスへ進む。英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) への推薦制度を 2019 年度に廃止した。

学会誌の企画記事、特集記事、レビュー&トレンド記事を基にした企画講座として、第 5 回を 2023 年に開催する。引続き、教育委員会と協力して検討する。

「溶接学会誌」と「溶接技術」の協業として、溶接技術に 1 頁の「溶接学会ニュース」を 12 回/年掲載していく。学会事務局と編集委員長とで引き続き対応する。

6.4 論文査読・審査委員会

電子査読システムが Editorial Manager への変更に伴い、投稿論文の査読承認方法も変更になっており、これにより承認期間が早くなっている。システム運用上の問題点を明確にする。また、ウェブ投稿受け付けで行っており、システム上の問題点を確認し、随時システムを調整する予定である。査読者に通常論文および Welding Letters の投稿から掲載までの期間の短縮を促進していく。査読者への利便性と短縮を図るために、投稿原稿の書式、査読報告書書式、査読フローの見直しを行い、使いやすい電子査読システムへの改善を図っていく。とくに、論文特集号に対応するために、査読システムの見直しおよび査読者用のマニュアルを作成、および Express 論文の査読過程で、査読者への負担などを改善する。投稿者への利便性を図るために、査読状況を公開できるようにシステム変更の検討も行う。

また、原則年度内 1 回以上の全委員が集まる定例委員会をウェブにより開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、および種々の意見交換および議論にあてる。

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。
- (2) 講演概要集第112集及び第113集を発行する。
- (3) 2023年度秋季および2024年度春季全国大会の開催形式の審議とそれに伴うプログラムを編成する。
- (4) 2023年度秋季および2024年度春季全国大会のオーガナイズドセッションを募集する。
- (5) 全国大会における35歳以下の研究者による口頭発表に対し、溶接学会優秀研究発表賞の審査・推薦を行う。
- (6) 全国大会における35歳以下の研究者によるポスター発表に対し、溶接学会優秀ポスター発表賞の審査・推薦を行う。
- (7) 全国大会における優秀な口頭発表に対する「エクスプレス・WL」投稿の無料特典者の審査・推薦を行う。
- (8) 全国大会の活性化による収入増（講演者・聴講者数の増加、展示ブース申込数の増加、など）および経費削減（アフターコロナにおける春季全国大会の開催形式など）を検討する。
- (9) 全国大会での日本溶接協会および日本接着学会との連携行事を検討・実施する。

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) 2022 年度 IIW 国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて、J-ANB・日本溶接協会と連携し、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験などの実施要領を検討する。
- (3) IIW 特認コースの受験者のために、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 2023 年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 2023 年度溶接入門講座 2 回（前掲）
 - 3) 2023 年度溶接専門講座（研究委員会と共同開催、前掲）
 - 4) 2023 年度溶接工学企画講座（編集委員会と共同開催、前掲）
 - 5) 溶接技術実用講座（支部主催）
 - 6) 新規セミナーなど
- (4) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施する講習会やセミナー、シンポジウムについて、IIW 特認コース WG と連携して IIW 履修ポイントを算定・認定する。
- (5) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (6) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。

6.7 国際交流委員会

- (1) 必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。
- (2) 国際溶接学会（第 76 回 IIW 年次大会 IIW 2023：7 月 16 日～21 日 シンガポール）に JIW を通じて参加する。国際会議は溶接・接合を会議名に付し各国から論文を募集する。

- (3) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、第30回シンポジウム「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装」(Mate2024)を開催する。
- (4) アジア溶接連盟(AWF)は、4月に中国にて、また、10月にフィリピンにて開催を計画しており、会議等に引き続き参加する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化の促進のため、若手会員の活動を積極的に支援する。また、若手会員・学生員、および賛助員企業の学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的に、若手会員・学生員、および賛助員企業に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。さらに、学生に対する啓発活動など学会員以外の参加を促進し、学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

(1) 春季全国大会フォーラム

方式：Microsoft Teams を活用した同時双方向型オンライン方式

日時：2023年4月27日(木) 予定

講演：6-8件(予定)

(2) 若手研究会(1回目)

日時未定、WEB開催

(3) 秋季全国大会 ポスターセッション

日時：2023年9月14日(木) 17:00~19:00 予定

場所：富山大学五福キャンパス 総合教育研究棟

(4) 若手研究会(2回目)と施設見学会(1回目)

日時：2023年11月頃(予定)、場所未定

(5) 若手研究会(3回目)と施設見学会(2回目)

日時：2024年1月頃(予定)、場所未定

(6) 溶接若手出前講義

日時未定、場所未定(コロナ禍の状況を見ながら開催可否を検討)

(7) 若手会員の交流・活動の活性化、若手会員の増強などに資する提言を行う。

7.3 グローバルネットワーク活動

(1) 若手会員、博士課程学生への国際会議参加費助成

(2) そのほか、海外の若手グループとのオンライン交流会開催へ向けた協議を進める。

7.4 情報交換および広報

(1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に活動報告等を掲載する。

(2) 溶接学会誌に「スポットライトー若手の特集記事ー」を掲載する。

(3) ホームページに、活動報告等の情報を掲載する。

(4) メーリングリスト(E-mail)による情報交換を促進する。

(5) アウトリーチ活動のための企画・準備を行う。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際化対応等について検討する。また、他学・協会との研究連携を推進する。
- (2) 春季全国大会においてフォーラム(界面接合研究委員会)を開催する。
- (3) 秋季全国大会においてフォーラム(溶接法研究委員会)を開催する。
- (4) 高エネルギービーム加工研究委員会が企画し、溶接工学専門講座を開催する。
- (5) 溶接学会論文特集号(第4回目)を、マイクロ接合研究委員会と界面接合研究委員会が共同で担当する。
- (6) 日本溶接協会と溶接学会との連携活動について継続的に検討を行い、春季講演大会で、特別講演「IIW2022の総括」・シンポジウム「電気自動車の溶接・接合技術」を共催する。
- (7) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、第30回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2024)

開催する。

- (8) アドホック研究会「大型構造物の製作，維持管理における溶接プロセスの高精度化，高機能化」において、2023年3月10日にオンラインジョイントセミナー「Hungary-Korea-Japan Joint Seminar on Design, Fabrication and Maintenance of Welded Steel Structures」を開催する予定である。2023年4月に溶接学会春季全国大会において研究会から複数件の発表を行う予定である。2023年9月までに2回程度の研究会を開催し、各委員からの情報提供および意見交換を行う予定である。なお、本研究会はJIW第XV委員会などと協力して研究活動を行う。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年5回
(2) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
(3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第245回	2023年03月	東京	研究報告 4件 (日本船舶海洋工学会材料溶接研究会との合同委員会)
第246回		未定	研究報告 3件～5件
第247回		未定	研究報告 3件～5件
第248回	2023年11月	大阪	溶接構造シンポジウム2023と併催
第249回		未定	研究報告 3件～5件

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
(2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
(3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
(4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第261回	2023年05月	東京	研究報告 4～5件
第262回		大阪	研究報告 4～5件
第263回		未定	研究報告 4～5件
第264回		未定	研究報告 8～10件（溶接冶金と合同開催）

JIW第12委員会、JIW第212委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
(2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
(3) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
(4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第253回	2023年05月	東京	研究報告 4～5件
第254回	2023年09月	大阪	研究報告 4～5件
第255回		未定	研究報告 4～5件
第256回		未定	研究報告 8～10件（溶接法と合同開催）

溶接部破面写真集の刊行を計画する

JIW第9委員会と協力して国際研究活動を行う

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第277回	2023年04月	東京	研究報告 3～4件
第278回	2023年07月	東京	研究報告 3～4件
第279回	未定	未定	研究報告 3～4件
第280回	2024年01月	東京	研究報告 3～4件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第102回	2023.06月	未定	研究報告 3～4件
第103回		未定	研究報告 3～4件
第104回		未定	研究報告 3～4件

J I W第4委員会と協力して国際研究活動を行う

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第141回	2023年06月	東京	研究報告 3～4件
第142回	2023年09月	大阪	研究報告 3～4件
第143回	2023年11月	未定	研究報告 3～4件
第144回	2024年01月	東京	研究報告 3～4件

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第141回	2023年05月	東京	研究発表 3～4件
第142回	2023年07月	オンライン	研究発表 3～4件
第143回	2023年09月	東京	研究発表 3～4件
第144回	2023年12月	東京	研究発表 3～4件

Mate2024 をスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と共同で開催する

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第123回	2023年05月	東京	研究発表 3～4件
第124回	2023年10月	東京	研究発表 3～4件
第125回	2024年01月	東京	研究発表 3～4件

第124回委員会は溶接協会ろう部会先端材料接合委員会との合同で開催予定

J I W第17委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 国内活動

9.1 日本学術会議材料工学委員会、日本溶接協会、軽金属溶接協会、日本非破壊検査協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会との協力を進め、本会の目標達成を図る。

9.2 支部活動の活性化を図る。

10. 国際活動

10.1 日本溶接会議 (JIW) の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。

10.2 アジア溶接連盟 (AWF) の活動に引き続き参加する。

10.3 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換し交流を図る。

11. 創立 100 周年記念事業

本会は、1926 年に設立され 2026 年に創立 100 周年を迎えることから 100 周年記念事業を計画する。

2023年度 支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

1.1 溶接技術講習会

(開催日時・場所・講演題目・講師：未定)

1.2 見学会

(開催日時・場所：未定)

2. 会務

2.1 2023年度支部商議員会並びに支部総会

日時・場所：未定 (Web開催またはメール開催を予定)

議事： 1)2022年度事業報告・決算報告・監査報告

2)2023年度事業計画・収支予算

3)2022年度溶接技術普及賞・溶接技術奨励賞 授賞式

3)その他

2.2 幹事会

第1回：(開催日時・場所未定、2023年4月頃を予定)

第2回：(開催日時・場所未定、2023年10月頃を予定)

2.3 表彰

(1)2023年度 溶接技術普及賞、溶接技術奨励賞

日時・場所：未定

(2)2023年度 第29回北海道地区溶接技術競技大会 (一社)溶接学会北海道支部長賞

日時：未定、場所：(競技会)苫小牧市(表彰式)札幌市

2.4 その他

・2024年度秋季全国大会に向けて支部実行委員会を設置。

・実行委員長の選任と合わせて支部長交代予定。(今後本部と日程等を協議)

2. 東北支部

1. 事業

1.1 第35回溶接・接合研究会

日時：2023年7月中旬

場所：宮城県内

講演発表：10件程度

1.2 溶接技術基礎セミナー

日時：2023年8月下旬

場所：岩手県内

1.3 刊行：なし

2. 会務

2.1 第60回商議員会

日時：2023年5月上旬

場所：オンラインにて開催予定

2.2 表彰

日時：2023年5月上旬

場所：例年は商議員会にて開催しているが、商議員会がオンライン開催となるため表彰式は行わず、賞状・副賞の郵送をもって表彰する。

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員にメール送信もしくは郵送 (2023年6月中旬)

3. 東部支部

1. 事業

1.1 第48回溶接学会東部支部 実用溶接講座 (見学会&講演会)

2023年秋に実施予定。

主題：詳細検討中。

1.2 研究交流会

2023年12月頃に実施予定。

詳細：検討中。

1.3 地区講演会・講習会

- (1) 東京地区（地区委員長：笹木聖人（日鉄溶接工業）
・2023年12月頃実施予定（詳細未定）。
第21回『溶接の研究』講習会（2023年度講習会）
主催：一般社団法人日本溶接協会（JWES）
後援：一般社団法人溶接学会東部支部ほか
- (2) 神奈川地区（地区委員長：古川尚英（神戸製鋼所）
実施予定（詳細未定）。
- (3) 千葉地区（地区委員長：前田将克（日本大学）
実施予定（詳細未定）。
- (4) 埼玉地区（地区委員長：金子裕良（埼玉大学）
実施予定（詳細未定）。
- (5) 群馬地区（地区委員長：荘司郁夫（群馬大学）
実施予定（詳細未定）。
- (6) 栃木地区（地区委員長：菅野金一（関東職業能力開発大学）
・2023年2月以降に見学会（（株）総合車両製作所）を実施予定（詳細未定）。
主催：（一社）栃木県溶接協会
共催：（一社）溶接学会東部支部栃木地区
- (7) 茨城地区（地区委員長：宮城雅徳（日立製作所）
実施予定（詳細未定）。
- (8) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県産業労働部成長産業推進課）
実施予定（詳細未定）。
- (9) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学）
実施予定（詳細未定）。
- (10) 新潟地区（地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学）
2023年12月頃に講演会を実施予定（詳細未定）。

2. 会務

2.1 2023年度支部通常総会

- 1) 2022年度事業報告および会務報告
- 2) 2022年度収支決算報告
- 3) 2022年度事業および収支決算に関する監査報告
- 4) 2023年度事業計画報告
- 5) 2023年度収支予算報告

2.2 表彰

- 1) 2022年度 溶接技術奨励賞の表彰
2023年5月開催予定の支部総会にて受賞式を行い表彰する。
- 2) 2022年度 溶接学会奨学賞の表彰
2023年3月楯を推薦者に送付し、推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する。

2.3 常任幹事会・地区委員長会議

年5回、適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業

1.1 溶接研究会，溶接技術講習会

(1) 溶接研究会

第103回 2023年3月9日 岐阜大学サテライトキャンパス+WEB

第104回 2023年8月 現地+WEB

第105回 2023年11月 現地+WEB

第106回 2024年2月 現地+WEB

(2) 溶接技術講習会

第26回 2024年2月 現地

2. 会務

2.1 支部総会および特別講演

日時：2023年5月

場所：現地+WEB

議事：

- 1) 令和4年度事業報告および決算報告
- 2) 令和4年度溶接学会技術賞等授賞式
- 3) 令和5年度事業計画案および予算案の審議、承認
- 4) 特別講演

2.2 支部商議員会、支部実行委員会、全国講演大会

第1回支部商議員会 2023年5月 現地+WEB

5. 北陸支部

1. 事業

1.1 特別講演会

開催回数：1回、開催日：2023年6月～8月の間

開催場所：富山大学工学部 会議室

内容：

- ・第1回目 講演会：

富山大学先進アルミニウム国際研究センターとの共催にて講演会を予定

1.2 研究発表会（主催・共催）

開催時期：6回を予定

開催場所：富山大学工学部 会議室

内容：先進軽金属セミナー（5回）ならびに大学院生・学部生による発表（1回）

1.3 見学会

先進軽金属材料研究機構共同研究棟（富山大学高岡キャンパス、8月末竣工）の見学

開催日：2024年1月～3月の間を予定

2. 会務

2.1 2023年度総会

開催時期：6月予定

開催場所：富山大学工学部

2.2 商議員会

開催時期（6月予定）

開催場所：通常総会と同時開催

6. 関西支部

1. 事業

1.1 2023年度講演・見学会

講演および関西地区の工場等見学を計画

（2023年秋頃、場所・講演題目・講師：未定）

1.2 支部表彰式を幹事会開催に併せて実施予定

日時：2023年6月（予定）

場所：未定

1.3 技術交流会および特別講演を幹事会開催に併せて実施予定

日時：2023年6月（予定）

場所：未定

2. 会務

2.1 2023年度幹事会

日時：2023年6月（予定）

場所：未定

7. 中国支部

1. 事業

1.1 2023年度溶接接合工学学修会

（開催日時・場所・講演題目・講師：未定）

- 1.2 2023 年度溶接入門講座（溶接学会 溶接教育委員会と共催）
（開催日時・場所・講演題目・講師：未定）
- 1.3 2023 年度見学会
（開催日時・場所：未定）
- 1.4 2023 年度学生発表会
（開催日時・場所：未定）
2. 会 務
- 2.1 2023年度支部幹事会商議員会並びに総会
日時：2023年3月（予定）
場所：ハイブリッド開催
議事：
 - (1) 2022 年度事業報告
 - (2) 2022 年度決算報告
 - (3) 2023 年度事業計画
 - (4) 2023 年度収支予算
 - (5) 2022 年度表彰報告
 - (6) 全国大会実施報告
 - (7) 溶接入門講座の件
 - (8) 見学会の件
 - (9) 溶接接合工学学修会の件
 - (10) その他
- 2.2 支部幹事会（支部商議員会と同時開催）
 - 第1回支部幹事会 2023年3月 ハイブリッド開催（総会と同時開催）
 - 第2回支部幹事会 2023年7月 広島市内またはWEB開催
 - 第3回支部幹事会 2023年12月 広島市内またはWEB開催
- 2.3 表彰
 - (1)2022 年度溶接技術奨励賞
田中 義和 氏（広島大学）
 - (2)2022 年度溶接技術奨励賞
川田 大介 氏（三菱重工業（株））
 - (3)2022 年度溶接学会奨学賞
甲斐 直人 氏（岡山大学大学院）
 - (4)2022 年度溶接学会中国支部 山本正登奨学賞（12 名）
 - (5)2022 年度溶接学会中国支部 最優秀ポスター発表賞
久保 英毅 氏（広島大学）
 - (6)2022 年度溶接学会中国支部 優秀ポスター発表賞（13 名）溶接技術奨励賞および普及賞は 2023 年 3 月開催の支部総会において表彰
上記(3)-(6)の学生表彰は 2023 年 3 月に賞状・記念品を推薦者に送付し、修了式時に表彰

8. 四国支部

1. 事業
- 1.1 第 28 回溶接学会四国支部講演大会
日時：2023 年 3 月 3 日（金）
場所：（一社）溶接協会 四国地区溶接技術検定委員会
講演数：7 件
- 1.2 第 31 回溶接技術実用講座
主催：溶接学会四国支部
共催：調整中
日時：2023 年 11 月 10 日（金）（予定）
場所：高知県
講師・講演題目：（未定）
参加者数：50 名（予定）
- 1.3 見学会
日時：2023 年 11 月 10 日（金）（予定）
場所：高知県
- 1.4 刊行

- 出版物：(1)第28回溶接学会四国支部講演大会概要集(PDF配布)
(2)第31回溶接技術実用講座 講演資料

2 会務

2.1 2022-2023年度第3回幹事会

日時：2023年3月3日(水)

場所：(一社)溶接協会 四国地区溶接技術検定委員会

2.2 2022-2023年度第4回幹事会

日時：2022年11月10日(金)(予定)

場所：高知県

2.3 表彰式

2023年11月10日(金)開催予定の第4回幹事会にて各賞の表彰

9. 九州支部

1. 事業

1.1 2023年度溶接学会九州支部研究発表会

日時：2023年8月(予定)

会場：未定(対面・Web併用会議)

研究発表15件程度

参加者：30名程度

1.2 溶接研究会

日時：2024年1月(予定)

会場：未定(Web会議とする可能性有)

研究発表5件程度

参加者：20名程度

1.3 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第20号

2. 会務

2.1 2023年度商議員会

[第1回] 2023年3月(Web会議)

[第2回] 2023年6月(書面回議)

[第3回] 2023年8月(対面・Web併用会議)

2.2 総会

日時：2023年6月または8月(未定，書面回議とする可能性有)

2.3 表彰式

日時：2023年6月または8月(未定，式は中止し，受賞者に表彰状等を直送の場合あり。)